



人の輪と集落の和

平成26年度事業報告書 平成27年度事業計画書



農事組合法人 酒人ふあ～む URL <http://www.sakoudo.jp/>

目 次

○ ごあいさつ	1
○ 第16回通常総会次第	2
○ 第16回通常総会提出議案	3
○ 平成26年度事業報告書	
部門別事業報告	4～13
貸借対照表	14
損益計算書	15～17
平成26年度剰余金処分案	18
附属明細書	19～20
監査報告書	21
○ 平成27年度事業計画書	22～29
○ 議案資料	30～31
○ 組織図	32
○ 組合員名簿	33

組合員のみなさまへ

第16回通常総会を開催するにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

26年度は第6次3ヶ年計画の初年度であり、その基本テーマ「変革」と「創造」のもと起立した「理念」と「基本方針」に則り、農業界を吹き荒れる厳しい環境を肌で感じながら「農は国の基なり」と心ひとつに取り組んだ年度でした。部門毎の詳細は、担当理事より説明をいたします。

米価の大幅な下落、円安による生産資材の高騰等、依然として厳しい状況下に置かれてはおりますが、酒人ふぁ～むは不滅です。積み上げた16年における酒人ふぁ～むの経営資源、とりわけ30%強の自己資本比率に裏づけられる流動性の良さ、残すは生産性と収益性の改善となります。これからが正念場、何が必要か、何を求めたいか、じっくり腰を据え、組合員とのひざ詰めでの話し合いが必要となります。

「誰かがやってくれるだろう」では、座したまま衰退するだけです。視界不良の中で、農業・農村が主体的に生き残るには、覚悟を持って、酒人ふぁ～む自らが先を見据え行動をとっていく必要があると思われま

す。その行動とは、食料・農業・農村の実態が変化しつつあるなか、理事の発想の転換と新分野への積極的なチャレンジ、従来の組織や手法の変革が必要との観点に立ち、全ての改革を進めていくことが喫緊の課題と思われま

す。ただ、社会の変化は時にすごく大きく、かつ、スピードが速いことを踏まえると、やるべき時、改革すべき時は、果敢に改革しなければならないと考えま

す。そこで、今、政府の産業政策と地域政策とを見極め、経営方針の方向の持続と変革のバランスをどうとるのか、そのためには、「今の段階でどのように改革するのか」、その方向性を部門毎にきっちり示し、また、「こういう状況になればこうする」という予測も示しました。「勝たずとも負けない戦略」、「強い農業でなく生き残る農業が強い」、そんな忍者魂を経営方針に、集落の発展に貢献できる組織として精進してまいります。

結びとして、酒人ふぁ～むの組合員皆様は、日本の農業の姿を変えた人たちです。私ごとですが、永らくその事務局としてお手伝いさせて頂いたことに感謝申し上げ、次世代に夢を託し、ご挨拶と退任のことばとさせていただきます。

平成27年2月28日

人は、人の為に成らずして、人にあらず

農事組合法人 酒人ふぁ～む

代表理事 福西義幸

第16回通常総会次第

と き：平成27年2月28日（土）

午後1時30分より

ところ：酒人公民館 1階大広間

1. 開会のことば
2. 代表理事あいさつ
3. 来賓ご祝辞

（ 休 憩 ）

4. 総会成立宣言
5. 議長の選任
6. 書記の指名
7. 議事
8. 役員を選任
9. 閉会のことば

議長氏名	
------	--

議事録署名人	議長および出席理事
--------	-----------

組合員数	55人	出席人数	人
------	-----	------	---

第16回通常総会提出議案

第1号議案 平成26年度事業報告について
平成26年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、
剰余金処分案及び附属明細書の承認について

第2号議案 平成27年度事業計画の承認について

第3号議案 役員報酬（手当）枠の承認について

第4号議案 任期満了にともなう役員改選について

附帯決議 この総会において決議した事項のうち、行政庁に提出する書類で補正・変更を必要とする場合は、その趣旨に反しない範囲内において、その変更を理事会に一任する。
また、巻末の「組合員名簿」をもって「正組合員」として承認する。

以上のとおり上程いたします。

平成27年2月28日

農事組合法人 酒人ふあ〜む
代表理事 福西 義幸

平成26年度事業報告書

部門別事業報告

生産部

[栽培]

栽培の観点26年度を振り返って見ると、水稻については、県の新品種「みずかがみ」の面積拡大と新たに「きぬむすめ」を取り入れ栽培をしました。

収穫高に於いては、生育前半は順調な生育状況でありましたが、8月に入り気象が一変し台風の接近やその後の風雨等、8月の登熟期における降水量最多記録や日照時間の最低記録が更新させるなど気候の変動のより当初の計画した数量を確保することが出来ませんでした。(滋賀県の作況指数97)ただ、品質面に於いては、全品種が概ね1等で終わることが出来ました。

栽培管理については、環境こだわり農産物の認証を受けながらも、除草剤を適時に活用することにより、一部の品種を除き除草に係る人件費削減と今後の除草対策の基礎が出来ました。ただ、無農薬・無化学肥料の圃場においては、多くの課題を残しました。

稲わら供給事業は、水稻の収穫後の天候不順により早生品種が殆ど取れず計画数値には届きませんでした。稲作の副産物としての重要な収益部門であり今後の為に新規に稲わら供給生産組合においては補助事業を活用し、パレットの購入と併せて若干の湿気対応策が講じられるよう26年度において調査・試作を開始しました。

麦については、生育当初は、生育不良が見受けられましたが、3月以降の気温の上昇と更に登熟期から収穫期にかけて、少雨・多日照で推移したことから昨年以上(過去最高)の数値(6、8俵)を挙げる結果となりました。今後も気象状況により作況は変化しますが、排水対策や施肥等の基本技術を励行しこの数値を維持していきたいと思えます。

大豆については、8月の降雨等の影響により、中耕の不足により雑草が多く田で見受けられましたが、病虫害においては、2回の防除が出来、全般的に紫斑病や虫害の発生が少なく収量的には前年以上の成績を上げることが出来ました。

種子大豆選別においては、昨年度導入した汎用制のある大豆色彩選別機の活用と、最後の磨きをすこやか営農グループの皆様連日かけて頂きました。

畑作物(麦・大豆)の所得補償交付金は数量と品質両面において、評価されることからより安定した栽培管理に努める必要があります。

野菜については、少量多品目への取組、契約栽培品目への取組により数多くの出荷と収入を得ることができたことは、両グループのそれぞれの作物において精一杯の取組をしていただいた結果です。ただ一部の作物に於いては、管理不足が感じられました。今後も野菜においては、病虫害防除や日常の管理が重要であり機械作業だけでなく手作業が必要と思われませんが、酒人産作物の育成は必要と考えています。今年度より新たに畑が増え、菊の栽培面積を増やし市場や花野果市へ出荷をいたしました。また区内の多くの方々にもご利用をいただきました。酒人ふぁ〜むとして日々の現金収入を支えているのは野菜栽培であることは事実であり、現金収入のアップには必要不可欠であります。

①穀類生産実績

水 稲	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反
うるち玄米	1767.7	90,150	1,500.0	8.5	1767.7	78,439	1,307	7.4
もち(羽二重)玄米	305	14,640	244.0	8.0	305.0	13,852	231	7.6
合 計	2,072.7	104,790	1,744.0	8.4	2072.7	92,291	1,538	7.4

小 麦	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反
農林61号	1,895.4	56,862	947	5.0	1,895.4	77,415	1,290	6.8
合 計	1,895.4	56,862	947	5.0	1,895.4	77,415	1,290	6.8

大 豆	計 画				実 績				
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量			
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反	
ふくゆたか	種子用	1,319.6	23,752	395	3.0	1,155.6	20,400	340	2.9
	一般用	503.4	10,571	176	3.5	667.4	12,000	200	3.0
合 計		1,823.0	34,323	571		1,823.0	32,400	540	

②野菜栽培形態別生産実績 (年間)

露 地・花卉・ハウス	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	箱・kg	箱/反		収量 (kg)	箱・kg	箱kg/反
ブロッコリー	30.0	1,500	500箱	166箱	30.0	1180kg	401箱	131箱
白 菜	30.0	15,000	1,000箱	333箱	30.0	19,080kg	1221ケース 334kg	6216kg
キャベツ	30.0	12,000	60コンテナ	20コンテナ	30.0	12,495kg	10971kg 152ケース	4,165kg
いちじく	23.6		4200パック	1800パック	23.6		2782パック	1179パック
白ねぎ	30.0	6,000	600箱	200箱	30.0	4,060	424箱	135箱
下田なす					2.0	233kg	958袋	468袋
小菊					4.0		3,738束	
小 松 菜	20.0	1,440	7,200袋	600袋	15.0	16,374kg	8,187袋	579袋
					0.0			
いちじく	3.0		200パック		3.0		袋	
くん炭							159袋	

※その他冬南瓜・玉ねぎ 青ねぎ・ピーマン・レタス・冬期用小菊等の作物を栽培しました。

※実績数値については、出荷日ベースでの生産量を上げています。

③耕畜連携稲わら生産実績（JA稲わら生産供給組合）

稲わら	計 画				実 績			
	採集 面積 (a)	生産量			採集 面積 (a)	生産量		
		収集量 (kg)	梱包 (7kg)	梱包/反		収集量 (kg)	梱包	梱包/反
飼料用稲わら	1,200	33,600	4,800	40	900	28,316	3,820	42
合 計	1,200	33,600	4,800	40	900	28,316	3,820	42

実績…パレットによる重量出荷

[労 務]

「我が集落は我が集落民で守る」を合言葉に頑張っておりますが、組合員の協力体制が高齢化しつつある中で今後の対応策が必要と考えられます。

26年度は25年産大豆の手選別増加と菊の栽培面積の増加により手作業が増加し計画より労働時間が増加しました。

すこやか、なごやか営農グループの皆様方にはチームワーク良く作業をしていただきました。

労働力の体制整備中のなかで取り組んだ結果が下表の通りです。

労務管理実績表

(単位：時間)

	計画	実 績					計画比 (%)	
		役員・OP	すこやかG	なごやかG	その他	合計		
穀類	水 稻 (8品種)	2,470	3,059	193		45	3,297	133.5%
	稲わら生産収集	480	252	119			371	77.3%
	小 麦 (農林61号)	650	713				713	109.7%
	大 豆 (種子・一般食糧)	3,000	744	2,552		10	3,306	110.2%
	計	6,600	4,768	2,864	0	55	7,687	116.5%
野菜	露 地 (5品種)	4,500	1,954	3,607	145		5,706	126.8%
	ハ ウ ス (2品種)	1,700	115		1,513	7	1,635	96.2%
	計	6,200	2,069	3,607	1,658	7	7,341	118.4%
共 通 (営業・事務・機械施設管理)	1,200	1,133	160			1,293	107.8%	
合 計	14,000	7,970	6,631	1,658	62	16,321	116.6%	

※26年度(1～12月)に投下した時間実績

営 業 部

平成26年度におきましては、米作は米価が大幅に下落し、直販も厳しい年になりましたが、給食弁当事業の大手、(株)一番との取り組みも始まり、今後のルートセールスに繋げてまいります。麦作及び大豆は昨年度に比べ増収になり、売り上げを補うことができました。野菜におきましては、イチジク、ブロッコリーは苦戦を強いられましたが、ネギや小菊が増収になりました。今後とも各グループ、生産部と連携を組み増収を目指してまいります。

①穀類市場（マーケット）別実績

水 稻		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販	うるち玄米	900	12,000	10,800	683	8,877	6,063	56%
	もち(羽二重)玄米	214	14,900	3,188	223	14,336	3,197	100%
	過年度精算						1,503	
	小 計	1,114		13,988	906		10,763	77%
直 販	うるち玄米	600	16,600	9,960	589	16,492	9,696	97%
	もち(羽二重)玄米	20	21,000	420	6	22,160	133	32%
	小 計	620		10,380	595		9,829	95%
合 計		1,734		24,368	1,501		20,592	85%

小 麦 農林61号		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販		947	1,500	1,420	1,290	1,769	2,282	161%
過年度精算							-276	
直 販								
合 計		947	1,500	1,420	1,290	1,769	2,006	141%

大 豆 ふくゆたか		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販	種 子 用	395	26,000	10,270	340	27,000	9,180	89%
	食 糧 用	176	3,000	528	134	3,000	400	76%
	過年度精算						2,048	
	小 計	571		10,798	474		11,628	108%
直 販	種 子 用							
	食 糧 用							
	小 計							
合 計		571		10,798	474		11,628	108%

②野菜栽培形態別販売実績

野菜	計 画			実 績				
	出荷量	単価 (円)	販売高 (千円)	出荷量	単価 (円)	販売高 (千円)	対比 (%)	
露地・花卉・ハウス野菜	ブロッコリー	500箱	1,500	750	401箱	1,526	612	82%
	白菜	1000箱	750	750	1272箱	746	949	127%
	キャベツ	60コンテナ	11,250	675	62コンテナ	12,370	767	114%
	いちじく	4200パック	280	1,176	2782パック	295	822	70%
	ネギ	600箱	1,500	900	424箱	2,375	1,007	112%
	下田なす	2000袋	150	300	958袋	180	173	58%
	小菊	2000束	210	420	3738束	227	847	202%
	小松菜	13000袋	75	975	8187袋	79	650	67%
	くん炭				159袋	400	64	
	ハウスいちじく	200パック	280	56				
その他野菜			1,000			434	43%	
合 計			7,002			6,325	90%	

野菜市場（マーケット）別販売実績

品 目	業 販				直 販				合 計	
	大津・京都市場出荷		学校給食・平和堂JA契約		花野果市JA直売所		イベント・直売		数量 (一)	販売高 (千円)
	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)		
ブロッコリー	273	252	2	5	118	339	8	16	401箱	612
白 菜	1,221	886	4	3	38	49	9	11	1272箱	949
キャベツ	54.6	596	5	96	2	63	0.4	12	62コンテナ	767
いちじく	431	90	530	88	1,785	631	36	13	2782パック	822
ネギ	399	953	1	3	16	35	8	16	424箱	1,007
小松菜	3,840	238	2,037	154	2,202	247	108	11	8187袋	650
くんたん					159	64			159袋	64
下田なす					932	169	26	4	958袋	173
小菊	824	103	0	0	2,357	633	557	111	3738束	847
その他		265		65		88		16		434
合 計		3,383		414		2,318		210		6,325

※業販＝JA・市場等への業者を通じた販売（学校給食含む）

直販＝直売所、ネット等を通じた直接販売

③耕畜連携稲わら販売実績（JA甲賀稲わら生産供給組合）

稲わら	業 販		出荷量 (kg)	※出荷単価 (円/kg)	販売高 (円)	
	飼料用稲わら	配 達		28,316	50	1,415,800
		引 取				
合 計			28,316		1,415,800	
売上合計					1,415,800	

実績・パレットによる重量出荷

機械施設部

①農業情勢は米価の下落、減反政策の見直し、不透明なTPP問題等非常に厳しい状況になっております。こうした中で、政府がいろいろな政策を打ち出しておりますが、補助があるからその事業に乗るというのではなく、費用対効果、現状の「酒人ふぁ～む」にマッチしているかを十分検討した中で、機械導入を検討していきます。

②組合員のみなさま、酒人区民のみなさまにご利用頂いておりました精米機がたびたび故障し、その都度修理を行い対応してまいりましたが、経年経過により修理不能になりました。これにより、理事会において、いろいろな角度から検討しておりましたところ、中古の精米機が見つかり導入することが出来ました。その間、大変ご迷惑をお掛け致しましたこととお詫び申し上げます。

③北側の2階倉庫に上がるはしごは、約5mまっすぐで今まで墜落防止設備がありませんでした。その為、安全带及びセフティーロック（墜落防止設備）を設置いたしました。このセフティーロックは安全带を腰に着用しセフティーロックのフックに安全带のフックを掛けて使用します。これは車のシートベルトと同じような機能で、もし落ちてもしっかり墜落事故を防止します。幸い今まで大きな事故は発生しておりませんが、ひとたび事故が発生すると本人が痛い思いをするだけでなく、組合にも大きな痛手となります。農作業という観点から安全に対する意識は薄いかわかりませんが、今一度「安全」の大切さを再認識して頂きたいと思えます。今後、安全設備についても必要なものについては、検討・導入していきます。

自己資金による購入（税込）

物 件	台	取得額
コソ精米機 K-CR300	1	1,300,000
丸山トラクター用除草剤散布装置 YS-22H	2	420,000
ヤマハ松山堀取機（白袈） VDU-01	1	420,000



企画管理部

【主に取り組んだ内容】

- ① 増資による資本増強
 増資をさせていただくことができ、組合員皆様に感謝申し上げます。
 出資金 448 万円→1,334 万円 (+886 万円)、自己資本比率 24.2%→33.5%
- ② 「組合員規定」の制定～「正組合員」「准組合員」に区分
 従事分量配当の税制上の問題を解決すべく、区分させていただきました。

【正組合員】組合に農地を提供し、かつ組合の趣旨に応じた出資をする組合員で議決権を有する。

- ③ 創立 15 周年記念総会開催
 公民館の建替工事中かつ 15 周年の記念として外部で開催しました。総会終了後、ささやかではありましたが懇親会を設けさせていただきました。



- ④ 「収穫感謝祭 2014」開催
 今年度も酒人区との共催とし、「豚汁」「大抽選会」「もちつき」が好評で、「酒人市」も早期完売となり大盛況でした。ご来場ありがとうございました。



- ⑤ 視察受け入れ状況

年	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
先	8	17	9	22	46	104	134	82	75	74	50	50	47	34	33
人	247	403	267	408	918	1,760	2,494	1,439	1,336	974	736	928	880	611	591

これまでに、延 785 団体、13,992 人の方が来村されました。

- ⑥ 今年度の掲載記事

メディア	月日	内 容
ゆうゆう水口・銀齢・	第 65 号	ここでも頑張っています老人パワー
日本農業新聞	3/11	現地研修会など事業計画を承認～連絡協議会総会
現代農業	9 月号	イナワラで稼ぐ～低価格だからこそ、イナワラ販売

- ⑦ 自動販売機の設置
 乾燥調整棟の前に、飲料自販機を設置しました。
 これまでの一律の作業賄いを改善し、利用者の多様な好みにも対応しています。出役者に対する福利厚生を考慮し、安い値段に設定しており好評です。



【平成26年度来視】

月 日	来 視 先	内 容	人数
1/25	めぐり精華	先進事例視察	13
1/27	京都新聞社 滋賀本社 編集部	取材	1
2/3	山形県酒田市農業委員会	先進事例視察	4
2/6	神戸市西区神出町集落営農連絡協議会	先進事例視察	45
2/9	奈良県大谷地区小集落営農組合	先進事例視察	7
2/12	J A京都やましろ青壮年部 南山城村支部	先進事例視察	12
	岐阜県揖斐川町(農) きよみず営農	先進事例視察	34
	鯖江市農業総合指導推進会議	先進事例視察	12
2/23	岡山県勝田郡勝央町 田井村づくり協議会	先進事例視察	8
2/24	大阪府貝塚市(農) 奥貝塚彩の谷	先進事例視察	24
2/27	京都市農業協同組合醍醐支部青壮年部	先進事例視察	26
3/8	亀岡市馬路町営農組合農作業受託部会	先進事例視察	20
3/28	J Aグリーン大阪楠根支部営農研究会	先進事例視察	22
5/6	NHK大阪放送局報道部渡辺ディレクター	取材	1
6/3	近畿農政局曾根局長ほか	現地調査	8
6/13	京都大学大学院農学研究科伊庭准教授	調査	1
7/8	J Aあいち中央産直事業部	先進事例視察	46
7/28	下呂市農業農村整備推進協議会	先進事例視察	41
7/31	岐阜県恵那市三郷町野井西部	先進事例視察	18
8/9	伊賀市「佐那具の農業を考える会」	先進事例視察	31
8/22	道の駅せせらぎの里こうら農産物生産者組合花き部会	先進事例視察	6
8/28	京都大学大学院農学研究科伊庭准教授	調査	1
9/2	佐賀県指導農業士会稲麦部会	先進事例視察	7
9/11	J A愛知西木曾川町オペレーター	先進事例視察	7
10/29	滋賀県農業技術振興センター	先進事例視察	20
10/30	韓国慶尚北道農業政策課	先進事例視察	33
11/2	兵庫県淡路市東桃川集落	先進事例視察	30
11/12	亀岡市曾我部町寺営農組合	先進事例視察	27
11/17	J A白山組合員・3団体	先進事例視察	30
11/27	近畿農政局近藤次長・西原課長	現地調査	2
12/4	大阪府大東市 農研クラブ連合会	先進事例視察	23
12/9	大阪府泉南郡岬町農業委員会	先進事例視察	14
12/16	韓国尚州市農民会	先進事例視察	17
合 計	33先(前年度比 -1先)	591人(前年度比-20人)	

【平成26年度講師派遣】

月 日	派 遣 先	主 催	内 容
1/25	J A 東びわこ	湖東地域農業センター	講演
7/29	愛東コミュニティセンター	ひがしおうみ晴耕塾	講演
10/2	南九州市川辺文化会館	南九州市担い手育成総合支援協議会	講演
10/17	米原市夫馬公民館	J A レーク伊吹	法人化相談
10/31	J A 栗東市桃李館	J A 栗東市	法人化相談

【平成26年度受講研修】

月 日	研 修	出 席 者	内 容
1/8	農林水産省との意見交換会	福西、林信、西村	意見交換会
1/15	キャベツ出荷研修会	伴、谷口、林清	説明会
	加工・業務用野菜対策近畿ブロック会議	林信	会議
1/16	法人連絡協議会役員会	福西	役員会
1/18	みずかがみ推進シンポジウム	伴	講演
1/27	滋賀県農政水産部農業経営課との意見交換会	林信	意見交換会
1/30	政策公庫近畿地区農業経営者交流会	千廣	講演
1/31	近畿農政局・技術提案会ワークショップ	林信、伴	意見交換
2/1	J A こうか特別栽培米生産部会	伴	総会
	甲賀地域農業者のつどい	福西ほか	講演 事例紹介
2/5	花野果倶楽部	すこやかG ながやかG	視察研修
2/6	経営構造対策推進研究集会	福西	講演 事例紹介
2/12	J A いちじく生産部会	伴、すこやかG	現地研修会
2/18	近畿産大豆生産・需要拡大講演会	林信	講演
2/27	小菊栽培講習会	ながやかG	講習会
3/7	J A こうか大規模稲作経営者部会	伴	総会
2/21	近畿産業連携ネットワーク連絡会議	林信	講演
3/17	花野果倶楽部	伴	総会
3/19	平成26年度担い手関連事業説明会	林喜	説明会
4/16	J A こうか花野果倶楽部野菜グループ	伴	説明会 研修
5/15	J A こうかいちじく生産部会	伴	総会
6/13	花野果倶楽部	伴	現地研修会
7/15	水口町露地野菜部会	伴	作付け会議
7/17	大規模稲作経営者部会	伴	視察研修会
7/18	J A こうかいちじく生産部会	すこやかG	研修
7/22	契約キャベツ栽培研修会	すこやかG	栽培研修
8/2	J A 滋賀農業経営者セミナー	福西、千廣	講演
8/9	水口良質米研究会「みずかがみ」	伴	現地研修会
8/18	甲賀地域集落営農法人連絡協議会	福西、伴、谷口	研修会

月 日	研 修	出 席 者	内 容
8 / 28	契約たまねぎ栽培研修会	すこやかG	栽培研修
9 / 2	忍葱圃場巡回及び現地研修会	すこやかG	現地研修会
9 / 25	(株)一番・本社工場見学会	千廣、谷口	見学会
10 / 15	6次産業化を考える研修会	谷口、林喜	研修会
10 / 24	忍葱圃場巡回及び現地研修会	すこやかG	現地研修会
	契約たまねぎ栽培研修会	すこやかG	栽培研修
10 / 31	秋冬野菜圃場巡回・現地研修会	すこやかG	現地研修会
11 / 21	コシヒカリ一族サミット	伴	研修会
	農業簿記研修会	福西	研修会
11 / 25	「忍葱」出荷目合わせ会	すこやかG	規格目合わせ
	農商工連携スタートアップ研修	谷口	講演・交流会
11 / 28	野菜種苗等に関する情報交換会	谷口	講演
12 / 2	いちじく現地研修会	すこやかG	現地研修会
12 / 18	J Aこうか稲わら生産供給組合	伴	検討会



貸借対照表

農事組合法人酒人ふぁーむ

平成26年12月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	60,133,120	【流動負債】	14,568,989
現 金 ・ 預 金	28,970,746	未 払 金	13,355,049
売 掛 金	11,463,017	預 り 金	280,000
農 産 物	141,050	リ ー ス 債 務	748,440
棚 卸 品	958,401	未 払 法 人 税	185,500
未 収 金	2,653,500	【固定負債】	55,730,524
仮 払 金	15,946,406	長 期 借 入 金	34,120,000
【固定資産】	45,500,172	長 期 リ ー ス 債 務	3,439,296
【有形固定資産】	44,452,662	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金	18,171,228
建 物	44,615,395	負債の部合計	70,299,513
構 築 物	4,140,632	純資産の部	
機 械 装 置	20,405,117	【資本金】	13,340,000
農 機 具	35,897,306	出 資 金	13,340,000
車 両 運 搬 具	3,528,940	【利益剰余金】	21,993,779
工 具 器 具 備 品	1,039,500	利 益 準 備 金	4,480,000
減 価 償 却 累 計 額	△75,331,379	当 期 未 処 分 剰 余 金	17,513,779
土 地	2,844,363		
リ ー ス 資 産	7,312,788	純資産の部合計	35,333,779
【投資その他の資産】	1,047,510	負債・純資産合計	105,633,292
外 部 出 資 金	50,000		
差 入 保 証 金	8,070		
保 険 積 立 金	989,440		
資産の部合計	105,633,292		

損益計算書

農事組合法人酒人ふぁーむ

自 平成26年 1月 1日 至 平成26年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
【事業損益の部】		
【事業収益】		
【販売高】		
販 売 高	43,113,941	
奨 励 助 成 金	22,848,629	
販 売 高 合 計		65,962,570
【事業費用】		
【生産原価】		
当 期 商 品 仕 入 高	316,895	
期 首 農 産 物 棚 卸 高	175,210	
当 期 農 産 物 原 価	44,157,340	
合 計	44,649,445	
期 末 農 産 物 棚 卸 高	141,050	
事 業 原 価	44,508,395	44,508,395
事 業 総 利 益		21,454,175
【事業管理費】		
事 業 管 理 費 合 計	3,712,720	3,712,720
事 業 利 益		17,741,455
【事業外損益の部】		
【事業外収益】		
受 取 利 息 等	4,423	
雑 収 入	629,916	
事 業 外 収 益 合 計		634,339
【事業外費用】		
支 払 利 息	105,840	
事 業 外 費 用 合 計		105,840
経 常 利 益 金 額		18,269,954
【特別損益の部】		
【特別利益】		
固 定 資 産 売 却 益	306,328	
農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 取 崩 益	1,215,000	
そ の 他 特 別 利 益	645,000	
特 別 利 益 合 計		2,166,328
【特別損失】		
固 定 資 産 除 却 損	7,404	
固 定 資 産 圧 縮 損	1,859,998	
農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 繰 入	838,901	
特 別 損 失 合 計		2,706,303
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		17,729,979
法 人 税 等		216,200
当 期 純 利 益 金 額		17,513,779

事業管理費内訳書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 平成25年 1月 1日 至 平成25年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額
役 員 報 酬	620,000
福 利 厚 生 費	161,468
教 育 ・ 研 修 費	57,400
広 告 宣 伝 費	74,800
旅 費 交 通 費	33,961
通 信 費	143,885
交 際 費	342,930
諸 会 費	182,235
水 道 光 熱 費	69,058
事 務 用 消 耗 品 費	513,526
修 繕 費	60,646
租 税 公 課	464,364
雑 費	602,047
税 務 顧 問 料	286,400
事 業 管 理 費 合 計	3,612,720

事業原価内訳書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 平成26年 1月 1日 至 平成26年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
【総事業費用】		
【資材費】		
種 苗 費	3,121,190	
肥 料 費	5,382,366	
農 薬 費	3,189,257	
諸 材 料 費	736,661	
合 計	12,429,474	
資 材 費 合 計		12,429,474
【労務費】		
農 業 労 災 費	301,281	
労 務 費 合 計		301,281
【その他生産費】		
農 具 費	473,360	
作 業 委 託 料	3,521,223	
土 地 改 良 水 利 費	2,468,310	
動 力 光 熱 費	2,562,337	
修 繕 費	8,572,439	
荷 造 運 賃 発 送 費	750,947	
機 械 賃 借 料	104,099	
年 貢 料 (借 地 料)	5,166,729	
農 業 共 済 費	1,792,685	
雑 費	82,020	
減 価 償 却 費	5,932,436	
そ の 他 生 産 費 合 計		31,426,585
当 期 事 業 原 価		44,157,340
合 計		44,157,340
当 期 農 産 物 原 価		44,157,340

剰余金処分案

(単位:円)

当期末処分剰余金の処分

項 目	金 額
当期末処分剰余金の処分	17,513,779
合 計	17,513,779
これを次のとおり処分する	
利益準備金	1,751,379
従事分量配当金	17,513,779
出資配当金	400,200
次期繰越剰余金	0

以上のとおり報告します。

農事組合法人酒人ふぁーむ

代 表 理 事	福西 義幸
理 事	林 信博
理 事	西村 清秋
理 事	千廣 友次
理 事	伴 慎也
理 事	山領 茂
理 事	藤田 貢

附属明細書

前期実績・事業計画実績対比

自 平成26年1月1日～至 平成26年12月31日

単位:千円

勘定科目	前期実績①		事業計画②		実績額③		前期対比③-①		予算対比③-②	
	金額	@	金額	@	金額	@	金額	@	金額	@
[耕作面積]	408.2		換算408.2反		換算408.2反					
		408.2		408.2		408.2		0		0
[事業収益]										
[販売高]										
販売高	47,953	117	46,784	115	43,114	106	-4,839	-12	-3,670	-9
奨励・助成金	22,299	55	21,600	53	22,849	56	550	1	1,249	3
販売高合計	70,252	172	68,384	168	65,963	162	-4,289	-11	-2,421	-6
[事業費用]										
[期首農産物棚卸]	120		120		175		55		55	
[商品仕入高]	442		370		317		-125		-53	
[資材費]										
[生]種苗費	3,562	9	3,400	8	3,121	8	-441	-1	-279	-1
[生]肥料費	5,930	15	6,650	16	5,382	13	-548	-1	-1,268	-3
[生]農薬費	1,596	4	1,750	4	3,189	8	1,593	4	1,439	4
[生]諸材料費	632	2	700	2	737	2	105	0	37	0
生産資材費合計	11,720	29	12,500	31	12,429	30	709	2	-71	0
[労務費]										
[生]農業労災費	169	0	170	0	301	1	132	0	131	0
労務費合計	169	0	170	0	301	1	132	0	131	0
[その他生産費]										
[生]動力光熱費	2,289	6	2,300	6	2,562	6	273	1	262	1
[生]農具費	935	2	0	0	473	1	-462	-1	473	1
[生]修繕費	5,418	13	6,130	15	8,572	21	3,154	8	2,442	6
[生]機械賃借料	70	0	350	1	104	0	34	0	-246	-1
[生]年貢料(借地料)	5,167	13	5,140	13	5,167	13	0	0	27	0
[生]作業委託料	2,728	7	2,800	7	3,521	9	793	2	721	2
[生]土地改良水利費	2,452	6	2,608	6	2,468	6	16	0	-140	0
[生]農業共済費	1,717	4	1,700	4	1,793	4	76	0	93	0
[生]機械リース料		0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]荷造運賃送料	924	2	630	2	751	2	-173	0	121	0
[生]雑費	135	0	150	0	82	0	-53	0	-68	0
[生]減価償却費	7,516	18	7,000	17	5,932	15	-1,584	-4	-1,068	-3
その他生産費合計	29,351	72	28,808	71	31,425	77	2,074	5	2,617	6
[期末農産物棚卸]	175		200		141		-34		135	
事業費用合計	41,627	102	41,768	102	44,508	109	2,881	7	2,740	7
[事業総利益]	28,625	70	26,616	65	21,455	53	-7,170	-18	-5,161	-13
[生]労務費(従事分量配当)	16,715	41	15,600	38	15,362	38	-1,353	-3	-238	-1
[改め事業総利益]	11,910	29	11,016	27	6,092	15	-5,818	-14	-4,924	-12
[事業管理費]										
事業管理費	3,946	10	4,200	10	3,713	9	-233	-1	-487	-1
[事業利益]	7,964	20	6,816	17	2,379	6	-5,585	-14	-4,437	-11
[事業外損益]	1,109	3	696		528	1	-581	-1	-168	1
[経常利益]	9,073	22	7,512	18	2,908	7	-6,165	-15	-4,604	-11

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。

平成26年度事業実績明細表

自 2014/1/1 ~ 至 2014/12/31

単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜・花卉・ハウス野菜		育苗	その他	合計
[耕作面積]	207.3反		189.5反		182.3反		16.3反				413.1反
[事業収益]											
農産物売上高	20,592	99	2,006	11	11,628	64	6,325	388	0	0	40,551
その他売上高	1,600	8	0	0	0	0	850	52	2,487	-2,375	2,563
奨励助成金	2,790	13	14,525	77	5,079	28	455	28	0	0	22,849
売上高合計	24,982	121	16,531	87	16,707	92	7,630	468	2,487	-2,375	65,963
事業原価											
期首棚卸	175		0		0		0		0	0	175
商品仕入高	0		0		0		317		0	0	317
[資材費]											
[生]種苗費	2,424	12	526	3	239	1	573	35	1,735	-2,375	3,121
[生]肥料費	1,898	9	2,871	15	0	0	614	38	0	0	5,382
[生]農薬費	1,630	8	314	2	1,085	6	160	10	0	0	3,189
[生]諸材料費	323	2	1	0	43	0	370	23	0	0	737
資材費合計	6,275	30	3,711	20	1,366	7	1,716	105	1,735	-2,375	12,429
[労務費]											
[生]労災保険費	154	1	69	0	66	0	12	1	0	0	301
労務費合計	154	1	69	0	66	0	12	1	0	0	301
[経費]											
[生]動力光熱費	1,310	6	588	3	562	3	102	6	0	0	2,562
[生]農具費	241	1	109	1	104	1	19	1	0	0	473
[生]農具修繕費	4,543	22	2,057	11	1,972	11	0	0	0	0	8,572
[生]機械賃借料	29	0	8	0	8	0	59	4	0	0	104
[生]年貢料(借地料)	2,635	13	1,188	0	1,137	6	207	0	0	0	5,167
[生]作業委託料	206	1	2,486	13	829	5	0	0	0	0	3,521
[生]農業水利費	1,259	6	568	0	543	3	99	6	0	0	2,468
[生]農業共済費	463	2	598	3	695	4	36	2	0	0	1,793
[生]荷造発送費	37	0	0	0	0	0	714	44	0	0	751
[生]雑費	30	0	19	0	23	0	10	1	0	0	82
[生]減価償却費	3,144	15	1,424	8	1,364	7	0	0	0	0	5,932
経費合計	13,897	67	9,046	48	7,238	40	1,246	76	0	0	31,427
期末棚卸	141		0		0		0		0	0	141
事業原価合計	20,360	98	12,826	68	8,671	48	3,291	182	1,735	-2,375	44,508
事業総利益	4,621	22	3,705	20	8,036	44	4,339	266	752	0	21,454
[生]労務費	4,485	22	1,262	7	3,537	19	6,078	373	0	0	15,362
改め事業総利益	137	1	2,443	13	4,499	25	-1,739	-107	752	0	6,092
[事業管理費]	1,893	9	854	5	817	4	149	9	0	0	3,713
事業利益	-1,757	-8	1,589	8	3,682	20	-1,887	-116	752	0	2,379
[事業外損益]	270	1	122	1	116	1	21	1	0	0	528
経常損益	-1,487	-7	1,711	9	3,798	21	-1,866	-114	752	0	2,908

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。

監 査 報 告 書

平成 27 年 2 月 22 日

農事組合法人酒人ふぁ～む
代表理事 福西 義幸 様

監 事 小林 伊佐治 ⑩

監 事 坂田 精平 ⑩

私たち監事は、平成 26 年 1 月 1 日から平成 26 年 12 月 31 日までの第 13 期事業年度の理事の職務の遂行、事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに附属明細書について監査しました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、組合の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 剰余金処分案は、法令及び定款に適合しており、組合財産の状況及びその他の事情に照らし、指摘すべき事項は認められません。
- (4) 附属明細書については、特に指摘すべき事項は認められません。
- (5) 理事の職務遂行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

平成27年度事業計画書

生産部

26年度より農地中間管理機構を通じての農地の集積と集約化が本格稼働となり我が集落に於いても、逸早く今までの課題でありました利用権設定について酒人農用地利用改善団体の指導の下に進められ、本年3月には公示される運びとなりました。酒人ふぁ～むに於いては、現行面積より若干上回る面積の受け手となります。ただ、農業を成長産業とされても、TPPでは今尚懇々とした状態が続いており、米の別枠輸入が考えられるなど農業の根幹を崩され、農家の生活を脅かす状態にあります。また、農業関連組織や団体についても、問題提起や改革案が出されるなど農業者に厳しい状況となっています。

このような農業情勢を的確に把握しつつ、今までの作付け方針を維持しながら、攻めの農業を考え、誇りと使命をもって取り組みます。

栽培

- ・営業部との両輪で「売るために作る」「求められているものを作る」をスローガンに安全、安心、顔の見える新鮮な食材を生産します。
- ・機械施設部と連携した農機の効率稼働による生産コスト削減に努めます。
- ・企画部との連携によるグループの再編とコストの削減

[重点方針]

1. 品質・環境に配慮した農業
2. 売価に見合った生産原価
コスト意識と営業意識の徹底
生産物の高付加価値化への検討
3. 的確な栽培管理
生産ステージに見合った的確な対応の強化
4. 次世代への栽培技術の継承

[事業計画]

①27年度穀類生産計画

水稲		栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
	うるち玄米	1934.9	510	8.5	98,700	1,645.0
	もち(羽二重)玄米	236.7	480	8.0	11,340	189.0
	合計	2171.6	506	8.43	110,040	1,834.0

小		栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
麦	農林61号	1,906.6	330	5.5	62,880	1,048
	合計	1,906.6	330	5.5	62,880	1,048

大		栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
豆	ふくゆたか	種子用	180	3	21,900	365
		食糧用	210	3.5	16,680	278
	合計	2,013.2	191	3.18	38,580	643

② 27年度野菜栽培形態別生産計画

露地・ 花 弁 ・ ハウス	品目	栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	出荷量	総収量 (kg)	出荷量
	ブロッコリー	20.0	500	166箱	1,500	500箱
	白菜	30.0	5,000	333箱	15,000	1,000箱
	キャベツ	30.0	4,000	20コンテナ	12,000	60コンテナ
	いちじく	23.6		1,800パック		4,200パック
	ねぎ	30.0	2,000	200箱	6,000	600箱
	小菊	5.0		10,000束		5000束
	小松菜	20.0	1300	6,500袋		13,000袋

③ 27年度耕畜連携稲わら生産計画（JA稲わら生産供給組合）

稲 わ ら		採集面積 (a)	10a当り		生産量	
			収集量 (kg)	梱包 (7kg)	総収集量 (kg)	出荷量 (梱包)
	飼料用稲わら	1,200	280	40	33,600	4,800
	合計	1,200	280	40	33,600	4,800

労 務

効率的な作業体制確立のため、機械施設部と連携し必要なハード面での整備を行うと共に、次世代へ繋げていくために農作業のマニュアル化を図ります。

[重点方針]

1. プロらしい効率作業
2. プロが耕す農地保全
3. 農作業機械操作技術の習得

[事業計画]

- ① 作業手順の確立
- ② 作物別作業時間の検証
- ③ 就労時間が作物別収支のバロメーター
作物別労務配分の強化

【作物別労働時間計画】

(単位：時間)

	水稻		小麦	大豆	露地野菜	ハウス野菜	共通	合計
	栽培・収穫	稲わら・収集	栽培・収穫	栽培・収穫・選別	栽培・収穫	栽培・収穫	営業・事務・施設・管理	
配分率	18%	3%	5%	21%	33%	12%	8%	100%
1月	40			950	430	100	110	1630
2月	40			1150	650	130	200	2170
3月	60		50	210	240	110	90	760
4月	300				210	100	90	700
5月	700		150		320	150	60	1380
6月	150		180	40	580	180	70	1200
上期	1290	0	380	2350	2430	770	620	7840
7月	140			160	350	170	80	900
8月	170	50		40	430	180	70	940
9月	450	280		40	650	150	60	1630
10月	350	90	100	10	330	140	60	1080
11月	50		200	40	160	140	80	670
12月	70		20	300	270	130	150	940
下期	1230	420	320	590	2190	910	500	6160
	2520	420	700	2940	4620	1680	1120	14000

営 業 部

米国との二国間協議で具体的な提示が出る等TPP交渉も大詰めを迎え、日本の農業環境は厳しくなっております。その中で、食の安全、安心を消費者の皆様に訴えつつ酒人製品の販売を最重点に営業活動をしてまいります。

[重点方針]

- 1 酒人米の販売強化
 - ルートセールスの強化
 - 宅配業者との協業
- 2 酒人特産品の企画販売

[事業計画]

- 1 低温倉庫、精米設備の計画立案
白米販売の充実（宅配等のルート開拓）
- 2 年間販売につなげる製品の開発（各部と連携）
- 3 区内直売所の設置
- 4 6次産業化に向けた計画立案

① 27年度穀類市場（マーケット）別販売計画

	業 販		出荷量 (俵)	出荷単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	水	うるち玄米		985	10,000
もち(羽二重)玄米			169	14,000	2,370
小 計			1,154		12,220
稲	直 販		販売量 (俵)	販売単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	うるち玄米		660	15,500	10,230
	もち(羽二重)玄米		20	20,000	400
	小 計		680		10,630
合 計			1,834		22,850

	業 販		出荷量 (俵)	出荷単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	小麦	農林61号		1,048	1,700
合 計			1,048	1,700	1,780

	業 販		出荷量 (俵)	出荷単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	大豆	ふくゆたか	種子用	365	27,000
食糧用			278	3,000	830
小 計			643	18,910	10,690

② 27年度野菜栽培形態別販売計画

露地・花卉・ハウス野菜	品目	出荷量	売価単価(円)	販売高(千円)
	ブロッコリー	500箱	1,600	800
	白菜	1000箱	800	800
	キャベツ	60コンテナ	11,200	672
	いちじく	4200パック	300	1,260
	白ネギ	600箱	2,400	1,440
	小菊	5000束	240	1,200
	小松菜	13000袋	80	1,040
	その他			988
合 計				8,200

野菜市場(マーケット)別販売計画

品目	業 販				直 販				合 計	
	大津・京都市場出荷		学校給食・平和堂JA契約		花野果市JA直売所		イベント・直売		数量 (一)	販売高 (千円)
	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)		
ブロッコリー	300	350	10	20	170	400	20	30	500箱	800
白菜	800	600	50	40	100	100	50	60	1000箱	800
キャベツ	50	510	2	20	6	100	2	42	60コンテナ	672
いちじく	2,470	550			1,700	700	30	10	4200パック	1,260
白ネギ	500	1,100			70	220	30	120	600箱	1,440
小松菜	6,500	450	2,000	150	4,000	390	500	50	13,000袋	1,040
小菊	1,000	200			2,600	700	1,400	400	5,000束	1,200
その他		300				500		188		988
合 計		4,060		230		3,110		900		8,200

※業販=JA・市場等への業者を通じた販売(学校給食含む)

直販=直売所、ネット等を通じた直接販売

③ 耕畜連携稲わら販売計画(JA甲賀稲わら生産供給組合)

稲わら	業 販	出荷量(梱包)	※出荷単価(円/梱包)	販売高(千円)
	飼料用稲わら	4,800	378	1,810
	合 計	4,800	378	1,810

※1梱包=7kgとした場合

機械施設部

米価の下落、補助金の削減、T P P問題等農業情勢は非常に厳しい環境下におかれています。こうした中で、本当に必要な投資であるかを吟味し、経費を削減した低コスト農業に努めます。

現有農機は経年により更新が課題となっていますので、各部との連携を密にし、費用対効果を十分に吟味して対応していきます。

[重点方針]

1. 保有資源の見直し
2. 更新機械に対する検討

[事業計画]

- ①費用対効果を吟味した上での機械導入検討
- ②オペレーターの育成
- ③公共下水道への接続又は浄化槽への切り替えへの検討

投資計画

年度	投資予定資産	取得額	※交付助成金	自己資金
27年度	①軽トラック	1,160,000		1,160,000
	②クボタ田植機 EP8D-FR	3,520,000	1,056,000	2,464,000
	③ヤンマートラクター EG76YUBQH2	6,966,000	2,089,000	4,877,000
	④EP8D用水田除草機 SJ-8EP	860,000		860,000
	⑦花用下葉取り機	320,000		320,000
合計		12,826,000	3,145,000	9,681,000

※交付助成金は概算見込み額

②③は経営育成支援事業 融資主体型 (3割助成) 但し事業採択可否は未定

企画管理部

〔重点方針〕

1. 「管理」から「企画」・「実践」に重心をおいた部内運営
2. 農業自由化への対応～安定した経営基盤の確立
3. 6次産業化への対応～当地にあった仕組みづくり
4. 魅力のある、働きがいのある組織体制づくり

〔具体的実施内容〕

1. 長期的に持続可能な農事組合体制の構築

世代別組織による分業体制、より多くの方が参画できる仕事の創出に努めてまいりましたが、従事分量配当の増加や不採算事業が顕著になりつつあります。酒人の農業を守りつつ、持続可能な担い手体制の構築を長期的に検討します。

- ① 将来を見据えた事業内容と効率的な組織体制の改善を推進して参ります。
- ② データを生かした原価管理および収益管理の徹底を図ります。
- ③ 販売ルール・支払ルールを明確化し、厳格な会計処理を維持いたします。
- ④ 営農組織に応じた賃金制度について見直しを行います。
- ⑤ 次世代の担い手を養成し、持続可能な組織をつくりまします。

2. 付加価値の高い商品開発にチャレンジ

完全有機・無化学肥料米のJAS（日本農林規格協会）の有機農産物（有機JAS）の認定取得を目指し、高付加価値商品としての地域ブランド化を図ります。無農薬・無化学肥料米を看板等でさらにアピールしてまいります。

3. 地域農業者との連携による大規模化の研究

- ① 生産物の専門化と大規模生産による高品質・低コスト生産の実現。
- ② 機械施設の共同利用および原材料・資材の共同仕入によるコスト削減。
- ③ 地域農業者との情報・意見交換の場を増やし将来ビジョンを検討。

4. 農産物の販売方式の改善検討

営業部と連携し、三土市の内容と開催時期の見直しと、近隣コンビニ等の販売店との連携販売について検討して参ります。また、高齢者家庭への配達サービスを日常的に実施できる体制を構築し、顧客へのサービス拡大と販売量拡大に努めます。

5. 周辺環境の整備

- ① 事務所・倉庫前通路の防塵化工事を実施します。
- ② 盗難防止及び防犯体制を強化します。（監視カメラの設置他）
- ③ 事務所トイレの下水道化または簡易浄化設備化を検討します。

平成27年度事業計画明細表

自 2015/1/1 ~ 至 2015/12/31

単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜・花卉・ハウス野菜		育苗	その他	合計
[耕作面積]	207.3反		189.5反		182.3反		16.3反				413.1反
[事業収益]											
農産物売上高	22,850	110	1,780	9	10,690	59	8,200	503	0	0	43,520
その他売上高	1,810	9	0	0	0	0	0	0	2,500	0	4,310
奨励助成金	2,500	12	12,000	63	4,000	22	300	18	0	0	18,800
売上高合計	27,160	131	13,780	73	14,690	81	8,500	521	2,500	0	66,630
事業原価											
期首棚卸	141		0		0		0		0	0	141
商品仕入高	0		0		0		300		0	0	300
[資材費]											
[生]種苗費	2,500	12	500	3	230	1	530	33	1,750	-2,500	3,010
[生]肥料費	1,700	8	2,800	15	0	0	610	37	0	0	5,110
[生]農薬費	1,541	7	318	2	1,018	6	153	9	0	0	3,030
[生]諸材料費	300	1	0	0	40	0	340	21	0	0	680
資材費合計	6,041	29	3,618	19	1,288	7	1,633	100	1,750	-2,500	11,830
[労務費]											
[生]労災保険費	153	1	66	0	69	0	12	1	0	0	300
労務費合計	153	1	66	0	69	0	12	1	0	0	300
[経費]											
[生]動力光熱費	1,321	6	550	3	575	3	100	6	0	0	2,546
[生]農具費	51	0	22	0	23	0	4	0	0	0	100
[生]農具修繕費	3,120	15	1,380	7	1,440	8	60	4	0	0	6,000
[生]機械賃借料	60	0	9	0	9	0	62	4	0	0	140
[生]年貢料(借地料)	2,213	11	955	0	998	5	174	0	0	0	4,340
[生]作業委託料	220	1	2,400	13	850	5	0	0	0	0	3,470
[生]農業水利費	1,259	6	543	0	568	3	99	6	0	0	2,468
[生]農業共済費	459	2	598	3	707	4	36	2	0	0	1,800
[生]荷造発送費	50	0	0	0	0	0	758	47	0	0	808
[生]雑費	31	0	21	0	22	0	12	1	0	0	85
[生]減価償却費	2,887	14	1,277	7	1,332	7	56	3	0	0	5,552
経費合計	11,671	56	7,755	41	6,524	36	1,359	83	0	0	27,309
期末棚卸	150		0		0		0		0	0	150
事業原価合計	17,856	86	11,438	60	7,881	43	3,305	184	1,750	-2,500	39,730
事業総利益	9,304	45	2,342	12	6,809	37	5,195	319	750	2,500	26,900
[生]労務費	4,414	21	1,208	6	3,822	21	5,056	310	0	0	14,500
改め事業総利益	4,890	24	1,134	6	2,987	16	139	9	750	2,500	12,400
[事業管理費]	1,836	9	792	4	828	5	144	9	0	0	3,600
事業利益	3,054	15	342	2	2,159	12	-5	-0	750	2,500	8,800
[事業外損益]	51	0	22	0	23	0	4	0	0	0	100
経常損益	3,105	15	364	2	2,182	12	0	0	750	2,500	8,900

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。

第3号議案

役員報酬（手当）枠の承認について

役員報酬（手当）枠は、理事、監事及び相談役の昨年度における支給実績および事業実績等を考慮し、総額100万円を限度額として承認をお願いするものです。

なお、個々の役員報酬（手当）額の決定および支給方法などについては、理事会に一任頂くことに、併せて承認をお願い致します。

これまで役員手当は、従事分量配当の一部として支給してまいりましたが、税法上、経費とみなされ、従事分量配当とは分離した処理を求められています。

なお、役員報酬は、総会毎の承認が必要となるため、前回と同様に上程させていただくものです。

支給額については、組合員に対する従事分量配当の実績を考慮し、かつ責任手当としての性格とのバランスをとり、慎重に検討してまいる所存です。

なお、役員手当に対する所得税は、源泉徴収させていただくこととなりますので、予めご理解とご協力をお願い申し上げます。

第4号議案

任期満了による役員を選任について

(定款 第19条 第20条)

○役員推薦委員会により推薦された役員候補者名簿

理事候補者（7名）

西村 清秋

千廣 友次

山領 茂

伴 慎也

藤田 貢

谷口 政郎

西村 伊久次

監事候補者（2名）

林 信博

坂田 精平

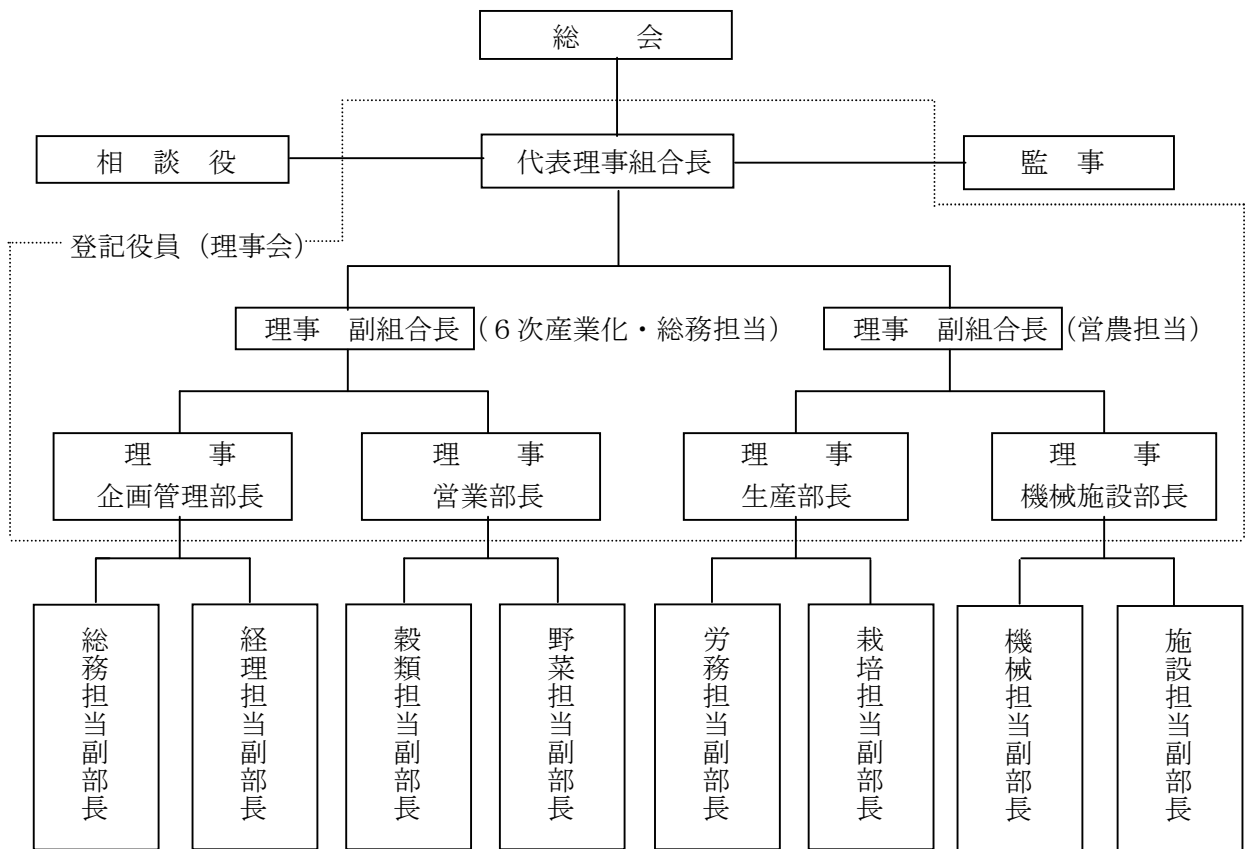
※ 敬称略 順不同

※ 理事の職務担当につきましては理事の互選とします。

※ 監事の職務担当につきましては監事の互選とします。

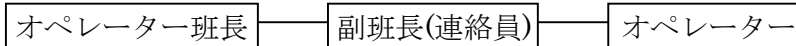
農事組合法人酒人ふあ～む組織図

平成 27 年 2 月 28 日現在



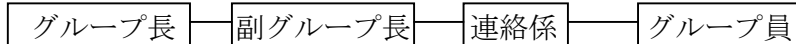
酒人ふあ～む協力組織

① オペレーターグループ (ふあ～む直轄)



☆酒人区内に居住し、集落営農の趣旨に賛同し、オペレーターとして出役が可能で営農意欲のある 20 歳以上 55 歳以下の男子 (登録制)

② なごやか営農グループ (組合員組織)



☆酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務 (作業) に出役頂ける 56 歳以上 65 歳未満の男子及び 20 歳以上 65 歳未満の女子

③ すこやか営農グループ (組合員組織) ~酒人老人会のメンバー



☆シルバー世代の酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務 (作業) の一部を担当頂くグループ

④ やすらぎ営農グループ (ボランティア) ~酒人敬老会の大関・横綱グループ

☆囲炉裏端会議のメンバーで、雑草取りの名人

農事組合法人酒人ふあ～む組合員名簿

平成27年2月28日現在

No.	垣戸	コード	組合員名	No.	垣戸	コード	組合員名
1	上 (9)	101	奥田 豊	28	中 (5)	401	山領 茂
2		103	伴 慎也	29		402	山田 良康
3		104	奥田 明	30		404	山田 亨
4		105	奥村 信行	31		408	林 稔雄
5		106	小林 伊佐治	32		409	山中 幸一
6		107	伴 惣司	33	寺 (7)	501	藤村 薫
7		108	奥邨 昌隆	34		502	増田 喜代子
8		109	吉川 貞	35		503	東浦 とし子
9		110	伴 昌信	36		505	増田 治郎
10	清水 (7)	201	西村 伊久次	37		506	小幡 修也
11		202	小林 茂実	38		507	山中 正博
12		204	西村 薫	39		508	山中 達雄
13		205	福西 義幸	40		601	山崎 愛子
14		207	西村 充広	41	603	谷口 榮治	
15		208	西村 美鶴	42	604	山崎 誠	
16		209	西村 清秋	43	605	山崎 征夫	
17	奥出 (11)	302	林 和也	44	椎名 (10)	607	林 信博
18		304	山中 悟	45		608	林 豊樹
19		305	林 健司	46		609	林 清治
20		306	藤田 典生	47		610	井上 喜夫
21		308	林 達弥	48		612	井上 武彦
22		309	山中 五郎	49		613	谷口 政郎
23		311	山中 丈之	50	北出 (4)	701	北出 孝子
24		313	林 喜代敏	51		702	坂田 精平
25		314	林 勝久	52		703	千廣 友次
26		315	藤田 利昭	53		706	北出 功
27	316	藤田 貢	54	八 (2)	805	安岡 秋治	
			55		809	金松 泰弘	

【表紙の解説】



第15回記念総会（かもしか荘）



酒人川生態系調査



酒人消防団



なごやか営農グループ（小松菜）



すこやか営農グループ・なごやか営農グループ（小菊）



すこやか営農グループ（いちじく）



オペレーター（草刈り総出）



オペレーター（キャベツ応援）



オペレーター（新米出荷）



収穫感謝祭



農文協「現代農業」（福西組合長）



自動販売機 設置



コイン精米機 新調



新 酒人公民館



農事組合法人 酒人ふあ〜む

2015年2月